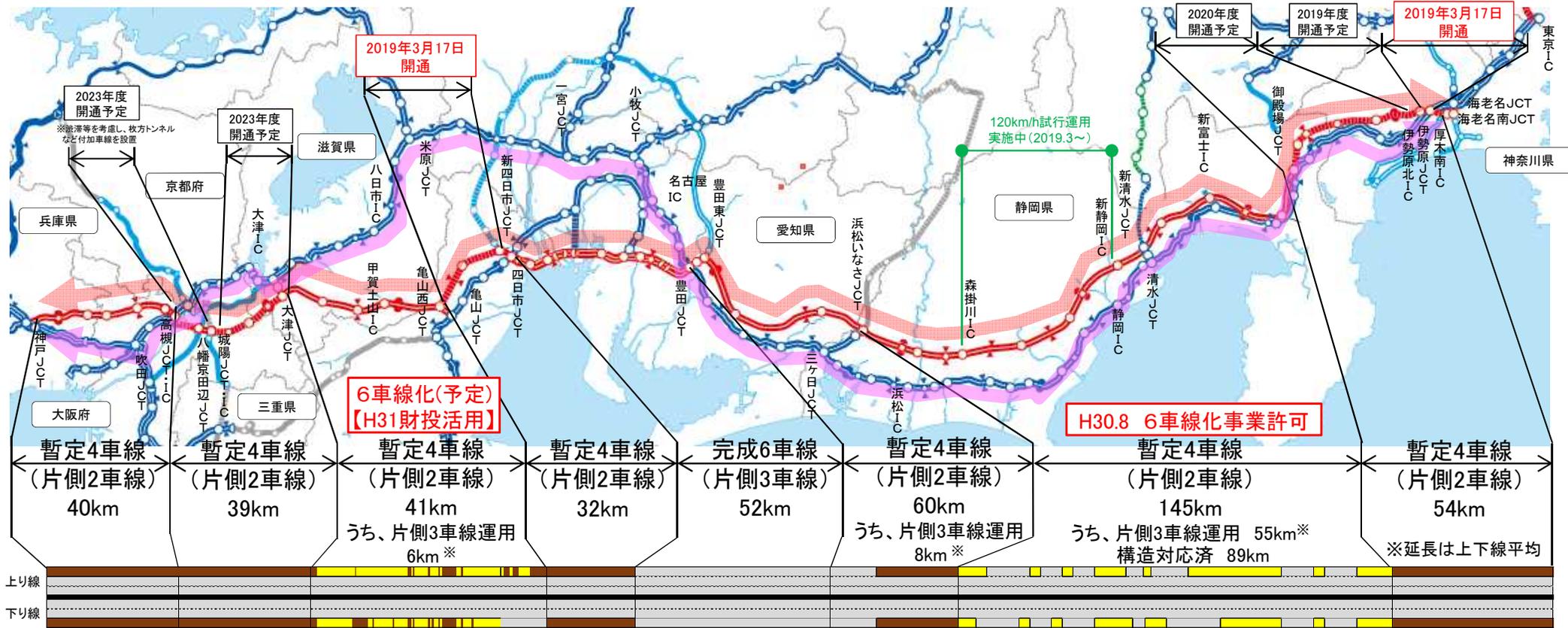


# 高速道路インフラ等に関する取組状況

# 新東名・新名神の機能強化

- 新東名、新名神の6車線化等により、三大都市圏をつなぐダブルネットワークの安定性・効率性を更に向上させることが必要。
- 新名神亀山西JCT～大津JCTは、約9割の区間で6車線運用に対応した構造物で整備済み。



構造物対応状況

□ : 運用車線 □ : 構造物4車線対応区間 □ : 構造物6車線対応区間(ラバーポール等による仕切り) ※土工切残し部含む

	計画	供用	6車線運用中	
			6車線運用中	6車線構造対応済 【4車線運用】
新東名	289km	237km (82%)	90km (31%)	89km (31%)
御殿場JCT～浜松いなさJCT	145km	145km (100%)	55km (38%)	89km (61%)
新名神	174km	112km (64%)	28km (16%)	29km (17%)
亀山西JCT～大津JCT	41km	41km (100%)	6km (15%)	29km (71%)
合計	463km	349km (75%)	118km (26%)	118km (26%)



ラバーポール

現況写真(構造物6車線対応区間)

※率は計画延長より算出  
※3車線運用、構造対応済み延長は、上下平均

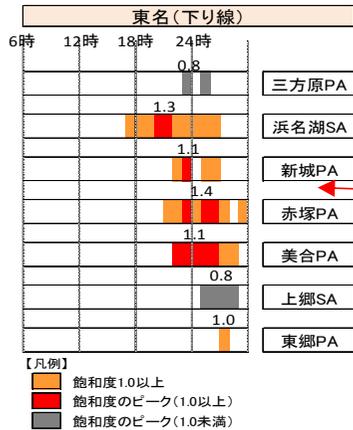
# 休憩施設の使いやすさの改善

- 物流の基幹となる高速道路ネットワークにおいて、大型車等の駐車マス不足やGSの空白区間の存在などが課題
- H30年度において、兼用マスを含む大型車マスを12箇所、266台分増設（H31.2末時点実績）
- 確実な駐車マスの確保を目的とした、駐車場予約システムの導入について検討
- 全国で休憩施設の間隔が概ね25km以上ある約100区間について、その半減を目指し、「道の駅」への一時退出を可能とする実験を全国20箇所で開催中。今後、道の駅の対象を拡大

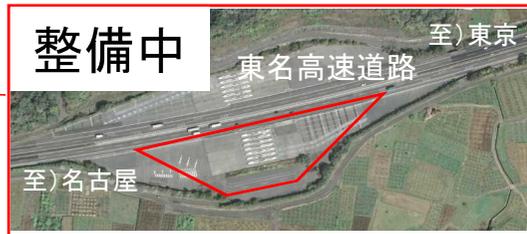
## <大型車駐車マスの確保>

大型車駐車容量の確保のため、旧豊橋本線料金所跡地の遊休地を活用し、近隣の休憩施設で大型車マスの混雑が生じている下り線の駐車場を整備中

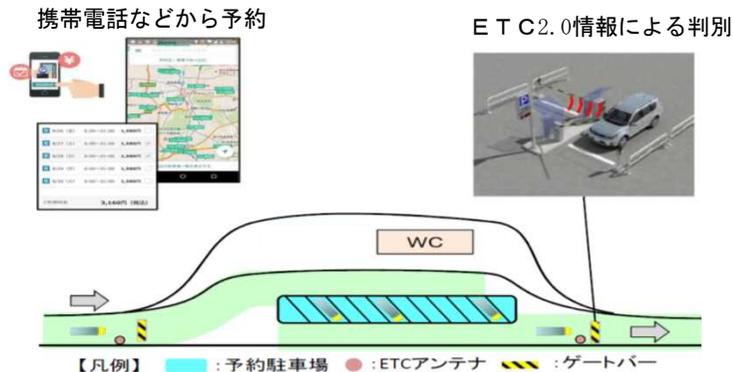
<付近の休憩施設混雑状況(大型車)>



<旧豊橋本線料金所跡地>



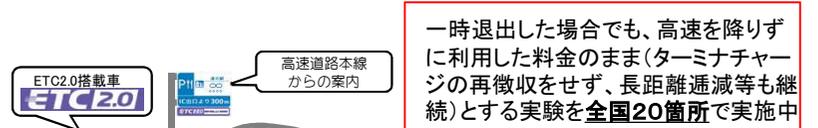
<予約システムのイメージ>



駐車場予約システム(有料)の導入について検討

## <路外休憩施設への一時退出>

### ○概要



【実験箇所】

第一弾 (H29.5.27~)

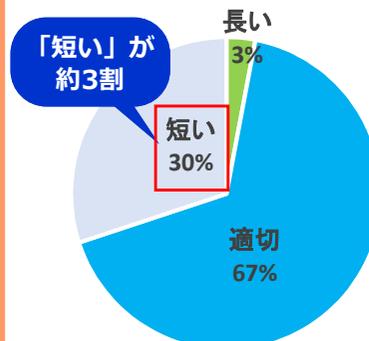
- ・道の駅 玉村宿 (群馬県、関越道)
- ・道の駅 もつくる新城 (愛知県、新東名)
- ・道の駅 ソレーネ周南 (山口県、山陽道) 計3箇所

第二弾 (H30.3.23~)

- ・道の駅 村田 (宮城県、東北道)
- ・道の駅 ごか (茨城県、圏央道)
- ・道の駅 舞ロードIC千代田 (広島県、中国道)等 計17箇所

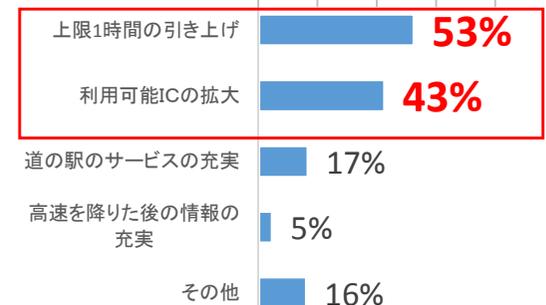
### ○高速道路利用者の声(WEBアンケート結果)

Q1.一時退出可能時間(1時間)をどう感じますか※1



Q2.どの利用条件が拡大されれば道の駅を利用しますか※2

0% 20% 40% 60% 80%



※1:各道の駅(20箇所)における利用者へのアンケート調査結果を集計

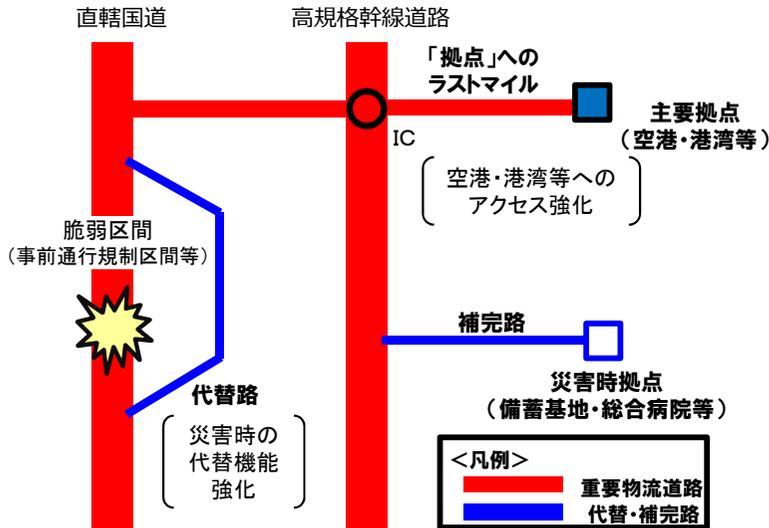
※2 上里SA利用者へのアンケート調査結果を集計

今後、一時退出実験を実施する道の駅の対象を拡大

# 重要物流道路の供用中区間の指定について

- 平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、国土交通大臣が物流上重要な道路輸送網を「重要物流道路」として計画路線を含めて指定し、機能強化や重点支援を実施。
- まずは、今年度末を目途に供用中区間を指定するため、各道路管理者と協議中。2019年度に事業中・計画中を含めて指定予定。

## ■ ネットワークのイメージ



## ■ 指定による効果

- ・重要物流道路のうち、道路構造上支障のない区間(約8割)について、国際海上コンテナ車(40ft背高)の特車通行許可を不要とする措置を導入
  - ・重要物流道路は、構造基準(高さ)4.5mから4.8mに引上げ(高さ4.1mの車両に対応)
  - ・災害時の道路啓開・災害復旧を国が代行
- 【重要物流道路】
- 【重要物流道路及び代替・補完路】



## ■ 今回の指定内容

### ① 重要物流道路

「拠点」※1間をつなぐ道路ネットワーク

<今回の指定 約35,000km>

高規格幹線道路や直轄国道、都市高速道路の供用中区間※2

[約30,500km]

「拠点」へのラストマイル  
(地方管理道路の供用中区間)  
[約4,500km]

新たな広域道路交通計画※3の中から  
事業中・計画中を含めて指定予定

※1「拠点」の種類

- ・都市: 地方中核都市  
地方の中心都市  
地方生活圏中心都市
- ・港湾: 国際戦略港湾  
国際拠点港湾  
重要港湾
- ・空港: 拠点空港  
その他ジェット化空港
- ・鉄道: 鉄道貨物駅  
(コンテナ取扱あり)
- ・物流拠点: トラックターミナル 等

※2 沿道環境に配慮が必要な区間や、現時点で国際海上コンテナ車(40ft背高)の通行が困難な区間等は除外

※3 地方ブロック単位で策定(各都道府県単位で策定するビジョン・計画とも調整)

### ② 代替・補完路

重要物流道路の脆弱区間の代替路や災害時拠点(備蓄基地・総合病院等)への補完路として、代替・補完路(約15,000km)を指定